

インターロッキングブロック舗装 技術用語

— 日本語 編 —

(あいうえお 順)

アメニティ

都市計画等で求める町並み、雰囲気、景観、植生、大気など身の回りのトータルな環境の快適さ。

維持

計画的に反復して行う手入れまたは軽度な修理。路面の性能を回復させることを目的に実施し、舗装の構造的な強度低下を遅延させる効果も期待される。主に表層または路面を対象としており、日常的な維持と予防的維持がある。

維持管理指数(MCI)

路面の供用性能を表わす評価指標の一つで、路面性状の良し悪しを定量化したものである。定量化には原則として、IL ブロックの破損率、わだち掘れ量、路面の平坦性の 3 特性値が使われる。

一層仕上げ・二層仕上げ IL ブロック

一種類の配合材料にて成型された IL ブロックを「一層仕上げ IL ブロック」、二種類の配合材料(基層と表層)にて成型された IL ブロックを「二層仕上げ IL ブロック」という。

入隅(いりすみ)

IL ブロックがある角度をもって出会う所の内方の隅をいう。

インターロッキング(かみ合わせ効果)

車両などの荷重がかかった時に、IL ブロック間に充填した目地砂により IL ブロック相互で荷重を分散して受け持つ効果。

インターロッキングブロック(IL ブロック)

かみ合わせ効果が発揮できる舗装用コンクリートブロック。

インターロッキングブロック層(IL ブロック層)

IL ブロックと敷砂層を合わせた層。

インターロッキングブロック舗装(ILブロック舗装)

ILブロック層と路盤(上層路盤及び下層路盤)からなるもの。

インターロッキングブロック舗装施工管理技術者(認定)

(社)インターロッキングブロック舗装技術協会が、ILブロック舗装に対する信頼と技術向上を目的としてILブロック舗装の施工を管理する能力を試験し、合格・認定された技術者。

液体目地固化剤

大気中の水分と反応して固化する水化重合型のウレタンやプタジェンなどのゴム系樹脂からなる液状材料で、目地砂に浸透固化させて、目地砂の流出や沈下を防止する目的で使用される。

n年確率凍結指数

n年に1回起こると推定された凍結指数で、凍上対策を検討する場合の基準となる。

エフロレッセンス(白華)

コンクリート中の可溶性物質が、水分とともにコンクリート表面に移動し、空気中の炭酸ガスとの反応によって析出した白い粉状のもの。

エンドブロック

ILブロック舗装の端部に使用するブロックで、基本ブロックは側面に凹凸があるのに対して、一辺が直線で構成され、縁石などに接する部分などに使用されるブロックをいう。

置換え深さ

寒冷地で路床土が凍結融解の影響を受ける場合、凍結指数と凍結深さの関係から推定される凍上の生じにくい材料で置き換える深さをいう。

納まり

ILブロックの割り付けにおいて、舗装端部やマンホールなどの路上構造物の周囲をエンドブロックやカットブロックなどを使って破損が生じない様に仕上げることをいう。

荷重分散性能

ILブロック表面に作用する輪荷重をILブロック相互のかみ合わせにより広い範囲に分散させ、路盤上に作用する荷重を分散させる性能をいう。

がたつき(カタカタ)現象

がたつき(カタカタ)現象とは、IL ブロック間に段差、目地の広がりあるいは IL ブロック間の水平移動等が生じて、車両の走行に伴い IL ブロックががたつき「カタカタ」と音を立てて上下動する現象をいう。この現象は、目地砂の IL ブロック下部への移動と消失と敷砂の固結により生じ、騒音を発生するために沿道環境にも悪影響を与える。

カッティング処理

舗装端部の処理において、スプリット式カッタやダイヤモンドカッタを使用して IL ブロックをカットして施工すること。

カットブロック

カッティング処理を行った IL ブロック。

角欠け

車両のタイヤによる IL ブロック同士の競り合いにより IL ブロック表面の角が欠けることをいう。

ガラスビーズ入り IL ブロック

路面表示の反射材としてガラスビーズを表面に混入し「光の再帰反射機能特性」を有する IL ブロック。

空練りモルタル

所定量のセメントと砂と水を入れずに練るモルタル。

陥没

路盤や敷砂の沈下、流出により部分的に IL ブロックが沈む現象をいう。

管理

基準試験、出来形および品質の管理からなり、所定の出来形および品質、性能の完成物を経済的に得ることを目的として、工事の種別、規模に応じて工程の各段階において適切な手法、頻度で実施するもの。

管理用車両

最大積載量 6.5 トン未満で、道路および道路周辺施設の管理のために使用する車両。

疑似目地

IL ブロック間の目地ではなく、IL ブロック表面に目地のように見える目的で設けられた目地状の溝。

基準試験

使用する材料の品質確認、使用する機械の性能確認、混合物の配合の決定および品質管理上必要な基準値の設定、作業標準の設定等を目的に実施する試験。

輝度

ものの明るさを表現したものであり、単位面積当たり、単位立体角当たりの放射エネルギー（発散する光の量）を比視感度（電磁波の波長毎に異なる感度）で計測したもの。輝度計を用いて計測する。

輝度比

隣接する IL ブロックの輝度の比視覚障害者誘導用ブロックの輝度と舗装路面の輝度の比。

機能的破損

舗装強度の低下に起因しない破損であり、表層のみに破損が留まる場合が多い。摩耗、段差、不陸などがある。

基本ブロック

IL ブロック舗装面を構成する標準的形状の IL ブロックをいう。

局部沈下

局部的な路床・路盤・敷砂層の沈下によるブロックの沈下をいう。

クールブロックパイプ(商標登録)

(社)インターロッキングブロック舗装技術協会が指定した試験機関により測定した、路面温度上昇抑制値が11℃以上のものに対して協会が認定した路面温度上昇抑制型 IL ブロック。

検査

使用材料や施工が設計図書に合致しているかを確認するもので、発注者によって行われる。

現場透水試験

IL ブロック舗装の浸透水量の評価をするために、現場透水量試験器を用いて浸透水量を測定する。

構造的破損

舗装強度の低下に起因する破損であり、路床・路盤層にまで破損が及ぶ場合が多い。例として路床・路盤の沈下によるわだち掘れなどがある。

構築路床

舗装の設計・施工にあたり、原地盤が軟弱である(例えば設計 CBR が 3 未満)場合、原地盤の排水や凍結融解への対応策をとる必要がある場合、舗装の仕上がり高さが制限される場合、あるいは原地盤を改良した方が経済的な場合等に原地盤を改良して構築された層をいう。

交通区分

IL ブロック舗装の交通区分は、IL1 (歩行者系道路)、IL2 (乗用車乗り入れ部)、IL3 (交通量の少ない道路)、IL4 (交通量の多い道路)、IL5 (産業ヤード)の 5 つに分類される。

小型道路

小型自動車等のみの通行に供することを目的とする道路および道路の部分を行い、普通道路に比べて道路空間が小さな規格となっている。普通道路(通常規格の道路)の整備が困難な箇所において、沿道のアクセス機能を持つ必要がなく、かつ近くに大型の自動車が迂回できる道路がある場合に整備することができる。

コンパクト

ソイルコンパクトの下面にゴムライニングをしたローラを取り付けた IL ブロック専用の振動締め機械をいう。IL ブロック舗装の締め、敷き砂の圧密、IL ブロック舗装表面の平たん仕上げおよび目地砂の充填に使用される。

最適含水比

含水比を変えた砂をある一定の方法で突固めた時の乾燥密度が最大となる含水比を最適含水比といい、現場の締め固めに利用される。

作業標準

所要の性能(出来形・品質)を満足する舗装を構築するための使用機械の選定や施工手順、施工方法など工事をどのように行うかの作業の標準を示すもの。

三角すり付け処理

工事途中で交通解放を行うために既施工部分と未施工部分の段差をなだらかに仕上げ、通行を円滑にするための処理方法をいう。

散水固化目地材

散水することにより硬化する目地材。砂などの粒状材料に粉末エマルジョンなどの粉末バインダーをプレミックスした目地用材料。

CBR

California Bearing Ratio の略。路床・路盤の支持力を表わす指数直径 5cm の貫入ピストンを供試体表面から貫入させたとき、所定の貫入量における試験荷重強さと、標準荷重強さとの百分率で表わす。通常、貫入量 2.5mm における値をとる。

視覚障害者誘導用ブロック

表面に線状や点状の突起を設けることにより視覚障害者に歩行位置や歩行方法を案内することに用いるブロックをいう。

敷砂

IL ブロックの下に敷設され、均一な密度と厚さでブロックの安定性と平坦性を確保するとともに、IL ブロック層に加わる荷重を均一に分散して、路盤に伝達する。

支持力

路床の土質や路盤の材料・含水比・締固めの程度によって得られる、交通荷重に抵抗する路床や路盤の強さをいう。

遮断層

路床上が地下水と共に路盤に浸入して路盤を軟弱化するのを防止するため、路盤の下に置かれる砂層。通常は設計 CBR が 2 未満のときに、厚さ 15～30cm に設ける遮断層は路床の一部として考え、舗装の厚さには含めない。

車道統一型 IL ブロック

(社)インターロッキングブロック舗装技術協会が開発した、IL ブロック舗装。各製造メーカーが統一した形状で製造する車道用のストレート型 IL ブロック。

遮熱性インターロッキングブロック

赤外線の高い反射性能が高い材料や遮熱性顔料を混入した路面温度上昇抑制型 IL ブロック。

集水管

透水性舗装において、舗装内に浸透した雨水を放流孔へ導くために埋設される管のこと。

修正 CBR

路盤材料や盛土材料の品質基準を表わす指標。JIS A 1211 に示す方法で 3 層に分けて各層 92 回突き固めたときの、最大乾燥密度に対する所要の締固め度に相当する CBR をいう。

修繕

路面の性能や舗装の性能が低下し、維持では不経済もしくは十分な回復効果が期待できない場合に実施する舗装の補修。建設時の性能程度に復旧することを目的として行う。

樹脂系モルタル

石油樹脂、エポキシ樹脂、アクリル樹脂などのアスファルト以外の有機質結合材料をバインダーとして砂と練り混ぜたモルタルをいう。

上層路盤上のたわみ量

大型交通量の多い車道での累積塑性変形を押さえる目的で、上層路盤上で49kNの荷重を載荷した場合のたわみ量のことをいい、目標値は0.8mm以下である。

照度

人間の感じる量を表わす心理物理量の一つで「光があたっている表面の単位面積当たりの光束の量」のことであり、その場所にどれだけの光が「照らしている」のかを表わす指標。明るさを示すのに用いられ、照度計で計測する。

消防自動車乗入れ部

防災や消防の観点から、消防自動車の乗り入れが可能と設計された箇所。

植生用ブロック

ブロック本体に中空部を設け芝生など植えることを可能にしたブロックで、駐車場などの緑化に使用される。

浸透水量

雨水を道路の路面下に円滑に浸透させることができる舗装の構造とする場合における舗装の必須な性能指標。舗装において、現場透水試験器で15秒間に浸透する水の量で、舗装の表層の厚さおよび材質が同一である区間ごとに定められるもの。

信頼性

舗装が設定された設計期間をとおして破壊しない確からしさ。

吸上げ機能

保水性ILブロックの性能で、保持した水分をILブロック上方へ吸い上げる能力のこと。品質規格値は、吸上げ率70%以上と定められている。

吸上げ率

絶乾状態のILブロックが、30分間に下面より水分を吸い上げた質量と湿潤質量から求める割合。

ストレート型 IL ブロック

IL ブロックの周囲の辺が直線で構成された四角形(正方形、長方形)の IL ブロックをいう。

ストレッチャボンド

縦横比が 1 : 2 の長方形 IL ブロックを、長手方向に 1 / 2 ずつずらして並べる敷設パターンをいう。

墨だし

土木や建築工事において、図面に書かれた寸法を現場に墨を使って印をつける作業をいい、測量器を使って、高さ・角度・幅を測り、線を引く。

すりつけ部

舗装の高さが変わるところで、歩行性および車の走行性を良くするため、スロープを設けて滑らかに変化させる部分をいう。

セグメンタルタイプ

(1)式、(2)式に当てはまる IL ブロックをセグメンタルタイプとする。

$$\frac{\text{IL ブロックの長辺}}{\text{IL ブロックの厚さ}} \leq 4.0 \quad \dots(1)$$

$$\frac{\text{IL ブロックの側面積の和}}{\text{IL ブロックの上面積}} \geq 1.0 \quad \dots(2)$$

ただし、短辺 \geq 50mm、厚さ \leq 120mm

施工基盤

IL ブロック舗装の基礎となる、路床、下層路盤、上層路盤から構成される層全体を総称していう。

設計期間

交通による繰返し荷重に対する舗装構造全体の耐荷力を設定するための期間のこと。

設計交通量区分

車道舗装の設計に用いる交通量の区分をいい、設計期間(10年または20年)における平均の1日1方向あたりの大型車交通量により、普通道路で7区分(N₁~N₇)、小型道路で4区分(S₁~S₄)としている。

設計 CBR

CBR-T_A法を用いて IL ブロック舗装の厚さを決定する場合に必要な路床の支持力。路床土がほぼ一様な区間内で、道路延長方向と路床の深さ方向について求めたいいくつかの CBR の測定値から、これらを代表するように定めたものである。

セメント安定処理工法

クラッシュランまたは現地材料に、必要に応じて補足材料を加え、数%のセメントを添加混合し、最適含水比付近で締め固めて安定処理する工法。一般にアスファルト舗装の上層路盤で一軸圧縮強さ 2.9MPa の場合、セメント量は 3～5 %である。

粗粒率(FM : Fineness Modulus)

80、40、20、10、5、2.5、1.2、0.6、0.3 及び 0.15mm の網ふるいの 1 組を用いて、ふるい分けを行った場合、各ふるいを通らない全部の試料の百分率の和を 100 で除した値。

ダイレタンシ

せん断力によって体積変化が生じる現象のこと。体積が膨張する場合を正のダイレタンシといい、逆に収縮する場合を負のダイレタンシという。IL ブロック舗装の目地砂には車両の荷重が作用すると正のダイレタンシが生じ、隣接する IL ブロックに荷重が伝達される。

多層弾性理論

IL ブロック舗装やアスファルト舗装を構成する各層の材料を弾性体と仮定し、舗装体に発生するたわみ・応力・ひずみを弾性理論から解析する方法。

段差

隣り合う IL ブロック間の高低差。

端部拘束用境界ブロック

IL ブロック舗装の端部を拘束するために使用する境界ブロック。代表的なものには JISA5371 プレキャスト無筋コンクリート製品 付属書 B に規定される境界ブロックがある。

地下排水

路床および路盤の排水を目的とし、路面下の地下水位を低下させること、地下水のたまり水、または路面から浸透してくる水を排水すること、および道路に隣接する地帯から浸透してくる水を遮断することなどをいう。

丁張り

遣方(やりかた)ともいい、工事現場で目的物を施工するための定規となるもの。位置と勾配を示すものと、位置と高さを示すものがある。

長方形ストレート型 IL ブロック

IL ブロックの周囲の辺が直線で構成された長方形の IL ブロック。

長方形波形型 IL ブロック

IL ブロックの外周が凹凸のある形状をしており、隣の IL ブロックとかみ合うようになっている IL ブロックをいう。

T_A (等値換算厚)

アスファルト舗装の路盤から基層までの全層を、全て表層・基層用の加熱アスファルト混合物で作ると仮定した場合に必要な舗装厚さをいう。

T_A 法

アスファルト舗装の構造設計方法の一つで、路床の設計 CBR と設計交通量に応じて目標とする(等値換算厚)を下回らないように舗装の各層の厚さを決定する手法。

T_A'

舗装厚の計算において、舗装構成する各層の厚さに等値換算係数を乗じ合計した値。この値が目標とする T_A (等値換算厚)の値を下回らないように設計する。

出来形

舗装の仕上がり精度を検査する時の項目を示し、基準高さ・幅・厚さおよび平坦性などをいう。

出来形管理

工事の施工にあたって、設計図書に示す形状寸法に合格するよう出来形を管理すること。一般に道路舗装の場合には、基準高さ・幅・厚さおよび平坦性などについて管理を行う。

出隅(ですみ)

二つの IL ブロックが会う所の出っ張った隅をいう。

凍結指数

積雪寒冷地での凍結深さ算出に使う、 0°C 以下の気温と日数の積を年間累計した値。

凍結深さ

路面から地中温度 0°C 以下の部分の深さ。

凍上抑制層

積雪寒冷地域における舗装で、路床を凍上の生じにくい材料や断熱性の高い材料で置換した部分。凍上を考慮しないで求めた舗装設計厚より、凍結深さから求めた路床の置換え深さの方が大きい場合、凍上防止のためにその差だけ路床の凍上を起こしにくい材料や断熱性の材料で置換えた部分をいう。

透水係数

多孔質体中の間隙を流れる水の浸透速度は動水勾配に比例するという関係にもとづいた場合の比例係数。多孔質体中に動水勾配に応じて水が移動する速度を示す。

透水性 IL ブロック

ポーラスコンクリートを使用して、IL ブロック本体に透水機能を持たせた IL ブロックをいい、歩道および車道の透水性舗装や排水性舗装に使用される。

等値換算係数

舗装を構成するある層の厚さ1cm が表層・基層用加熱アスファルト混合物の何 cm に相当するかを示す値。

動的円錐貫入試験(DCP)

動的円錐貫入試験は、路盤・路床の支持力を推定するのに実施する打撃回数と貫入量との測定結果から現場 CBR (%) や路盤厚を推定することができる。

ならし板

敷砂を平らにならす道具。

ハンプ

道路の整備手法のひとつで、通過する自動車のスピードを抑えるために、街路の車道部分を盛り上げて舗装した部分。「hump」は「こぶ・起伏・土地の隆起」の意味。路上に出っ張りを付けることで、運転者にスピードの低下を促す。路面に物理的な凹凸をつけず、舗装の色や素材を変えて、運転者の注意を引いて心理的な効果を狙うタイプを「イメージハンプ」という。

PI(塑性指数)

路盤材料中に含まれる細粒分等が塑性状態にある含水量の大きさをいい、液性限界と塑性限界の含水比の差で表される。

ヒートアイランド現象

郊外の自然地域に比べ、都市部ほど局地的に気温が高くなる現象。高温域が島状の形になることからこう呼ばれる。

表層(IL ブロックの表層)

IL ブロックの表面部分で、材料としては基層のコンクリートのままのもの、表層モルタルで仕上げたもの、ショットブラスト、研磨などがある。

表層剥離

IL ブロックの破損の一種で、車両タイヤの衝撃や IL ブロックの競り合いなどにより、IL ブロックの表層部分が剥離した現象をいう。

表面仕上げ

IL ブロックの表面の仕上げで、表層モルタルの有無により、二層仕上げと一層仕上げがあり、さらに表面二次加工仕上げがある。

表面テクスチャ

IL ブロックの表面の色、粗さ、使用骨材の種類、凹凸模様、表面仕上げなどがある。

表面二次加工

IL ブロックの表面加工で、ショットプラスト加工、洗い出し加工、研磨加工などがある。

表面排水

降雨などによる表面水を側溝などに排水することをいう。

疲労破壊輪数

舗装路面に 49kN の輪荷重を繰り返し加えた場合に、舗装にひび割れが生じるまでの回数をいう。

品質管理

材料の品質特性が施工中に常に設計図書に示された規格を満足するよう、適宜試験などを行うことにより管理すること。欠陥を未然に防ぐことを目的として行う。

フィルター層

透水性舗装の路床上面に設ける透水性材料の層。浸透水の浸透を助長するとともに、粒状路盤材料の細粒分の流出を抑制する。

不織布

雨水などによる敷砂の流失防止、粒状路盤材料や路床上の細粒分の流出防止の目的で使用される。

敷設パターン

IL ブロックの並べ方によってできる IL ブロックの組み合わせをいう。車道においては、荷重分散性能が高く、IL ブロックの移動が少ないヘリンボンボンドや、路面表示が容易なストレッチャーボンドが多く用いられる。

普通 IL ブロック

透水性、保水性および視覚障害者誘導用以外の一般的な舗装用の IL ブロックをいう。

フラッグタイプ

(1)式に当てはまる IL ブロックをフラッグタイプとする。

$$1.0 > \frac{\text{IL ブロックの側面席の和}}{\text{IL ブロックの上面積}} \leq 0.65 \quad \dots(1)$$

ただし、短辺 \geq 50mm、厚さ \leq 80mm

ブロックカッタ

IL ブロックのカッティングに使用する切断機をいい、ダイヤモンドカッタと、スプリット式のカッタがある。

ブロック形状

平面形状は正方形か長方形、辺形状は、ストレート型が一般的である。

ブロック層

IL ブロック舗装の表層をいい、IL ブロック、目地用材料、敷砂によって構成される IL ブロック層の略称。

ブロックの厚さ

IL ブロックの厚さ寸法で、標準的には 60mm と 80mm があり、80mm は車道や駐車場に、60mm は歩道に使用される。また、普通道路の交通量区分 N_7 の車道や、空港舗装および港湾コンテナヤードなど重荷重舗装では 100mm や 120mm の IL ブロックを使う場合がある。

ブロックの水平移動

IL ブロック舗装の破損の一種で、車両の進行方向に沿って目地ラインが移動する現象をいい、交差点流入部、曲線部、坂路および停止線の手前などで発生することが多い。

ブロックの破損率

全体の IL ブロックの個数に対する破損した IL ブロックの百分率を表わし、MCI (維持管理指数)の算出などに使用される。

ブロック敷設機

IL ブロックを 1 ユニットずつつかみ、敷設箇所まで運搬して所定位置に設置できる機能を持つ機械で、施工の効率化を可能にする。

ブロック舗装強化プレート

IL ブロックの目地部に挿入して舗装を強化するものであり、水平部と垂直部からなるプラスチック製の補強部材。

平坦性

舗装の性能指標の一つ。車道(2以上の車線を有する道路にあたっては、各車線)において、車道中心線から1m離れた地点を結ぶ、中心線に平行する2本の線のいずれか一方の線状に延長1.5mにつき1箇所以上の割合で選定された任意の地点について、舗装路面の想定平坦舗装路面(路面を平坦となるよう補正した場合に想定される舗装路面)との高低差を測定することにより得られる、当該高低差のその平均値に対する標準偏差で、舗装の表面厚さおよび材質が同一である区間ごとに定められるもの。

平板

振動を加えない高加圧即時脱型方式で製造されるもの。または、型枠内にモルタルを流し込んで硬化後脱型する流し込み製法により製造されるもの。

平面設計

IL ブロック舗装表面の幾何学模様を、敷設パターンとしてどのように配置するかを決定するための路面デザイン。

ヘリンボンボン

縦横比が1:2の長方形ブロックの敷設パターンの一種で、長手と短手を交互に組み合わせる並べ方をいう。配列の方向により45°と90°のパターンがあり、荷重分散性能が高いことから交通量の多い車道に使われる。

飽和透水係数

飽和した土の中を層流状態で水が浸透する際の水の流れやすさの度合いを示す指標。

歩行者系道路

舗道、自転車歩行者専用道路、歩行者専用道路、公園内の道路及び広場などの、主に歩行者の用に供する道路。

補修

舗装の供用性能を一定水準以上に保つための行為。維持と修繕がある。

補修用ブロック

IL ブロックが破損した場合に、補修で使用するIL ブロック。形状や色調の変化を考慮し、施工計画の段階から備蓄しておくことが望ましい。

保水性

保水性 IL ブロックに求められる性能の一つ。IL ブロック内部に水分を保持する能力のことで、保水量で示す。保水量の品質規格値は $0.15\text{g}/\text{cm}^3$ 以上と定められている。

保水性 IL ブロック

IL ブロック内部に水分を保持するための保水性と、保持した水分を IL ブロック上方へ吸い上げる吸水性をもたせた IL ブロックをいい、路面温度の上昇抑制機能を有している。保水量と吸上げ率の品質規格値が定められている。

舗装の厚さ

通常は路床面から路面までの厚さをいう。構造設計でいう舗装の厚さは、路床土の設計 CBR と交通量の区分によって定まる T_A (等値換算厚) を下回らない様に決められる。通常、遮断層は舗装の厚さに含まれない。

ポンピング現象

IL ブロック舗装において、目地砂や敷砂が輪荷重の繰り返しの影響によって、目地部分から表面に吹き出す現象。

目地

IL ブロック相互間の隙間。

目地間隔

IL ブロック間の目地間隔は、2～3mm である。

目地キープ

目地幅を確保するために、IL ブロックの周囲に設けるスペーサー的な突起をいう。

目地砂

IL ブロック間の目地に充填される最大粒径及び粒度が管理された砂。

目地詰め

目地砂を IL ブロック間の目地に充填する工程。

面取り

IL ブロックの表面の周囲の角を斜めに切り取ったことをいう。美観や歩行性、走行性を良好にするために設ける。

溶射ブロック

コーティング材料を溶融もしくは軟化させ、微粒子状にして表面にコーティング皮膜した IL ブロックで、路面表示などに用いる。

予防的維持

IL ブロック舗装の性能低下を遅延させることを目的とする維持。

余盛厚

締固めによって敷砂が圧密されて沈下する量と、IL ブロック敷設後に行う IL ブロック層の締固めによって、さらに敷砂が圧密されて沈下する量を見込んだ厚さ。歩道の場合は 3～5mm 程度、車道の場合は 2～3mm 程度とする場合が多い。

ラウンドアバウト

信号機がない円形交差点の一種。3 本以上の道路が接続されている交差点の中央に円形のスペースを設けたもので、車両はこの円形地帯に沿った環状道を時計回り(右側通行の場合は反時計回り)に一方通行で走行する。環状道を走る車両に優先権があり、進入する車両は必ず一時停止をしなくてはならない。一時停止した後に環状道を走ることによって車両の走行速度を抑え、事故を抑制することができるうえ、信号機の維持費や電気代がかからず、災害時に停電しても交差点の機能が失われないなどのメリットがある。

粒状材料

クラッシュラン、砂、砂利などの粒状の材料。

粒度調整碎石

破碎後ふるい分けして需要目的に合った一定のサイズにした碎石。

粒度調整鉄鋼スラグ

路盤用鉄鋼スラグのうち、所定の良好な粒度となるようにしたもの。

輪荷重

車両のタイヤ 1 輪にかかる荷重で、複輪の場合は 2 輪にかかる荷重をいう。通常の車両の場合、輪荷重を 2 倍したものが軸重に等しい。

瀝青安定処理

碎石・砂等の骨材をアスファルト乳剤やアスファルトなどの瀝青材料で安定処理すること。

レジリエントモデュラス

弾性係数やステフィネス(曲げやねじりの力に対する、寸法変化(変形)のしづらさの度合い)と同様に材料の変形特性を表わす指標のひとつで、応力と回復するひずみの比で求める。多弾性理論を用いて舗装の構造設計を行う場合などに用いる。

路床

舗装は一般に原地盤の上に築造されるが、原地盤のうち、舗装の支持力層として構造計算に用いる層。その下部は路体という。また、原地盤を改良し、構造計算上、交通荷重の分散を期待する場合には、その改良した層を構築路床、その下部を路床(原地盤)といい、併せて路床という。

路盤

路床の上に設けた碎石層やアスファルト安定処理層、コンクリート層のこととであり、ILブロック上に作用する輪荷重を分散させて路床に伝える役割を果たす層。一般に上層路盤と下層路盤の2層に分けられる。

路面温度上昇抑制型 IL ブロック

密粒度アスファルト舗装に比べて、路面温度の上昇を11℃以上抑制する効果を有する IL ブロック。

路面表示

路面に路面表示用塗料や専用の IL ブロックなどを用いて通行上の指示を表示することをいう。

わだち掘れ

舗装の破損の一種で、車輪の走行する部分が他に比べて進行方向に沿って沈下することをいう。原因には、路床・路盤の沈下、敷砂の品質不良、ILブロックの摩耗などがある。

割付け図

所定の舗装区域にILブロックを指定のパターンで張り、路面表示などを書き込んだ図面をいう。

割付け寸法

割付け図の作成に用いる IL ブロックの寸法に目地幅を含めた寸法をいう。モジュール寸法ともいう。

以上